

山陽堂だより 96

2017 年 7 月文月



1. 空をつくる 小川清
村尾巨作/監修
2. 今日の人 人生 ミニマ社
益田ミチ子著
3. 悲しみの秘儀 TPO社
若松果輔著
3. 君の瞳に涙をこぼした
佐野エミ著 双葉社
4. 司馬遼太郎で学ぶ
日本史 石坂道史著
4. アキラとあきら 徳間
池田潤子著

- 5. みみぐは 黄舎に飛いたつ
村上春樹 / 川上和明子 著 } 新潮社
- 5. 火花 又吉直樹 著
- 5. 物欲なま世界 菅付雅信 著 平凡社
- 5. 一汁一菜いふいふ提案
スウィーツ 土井善晴 著
- 5. 庵は十字架 東野至吾 著 光文社
- 5. 劇場 又吉直樹 著 新潮社
- 5. 美女は飽きない マカジンハウス

1. GINZA 7月号 大好ミ! 万々の広告
2. SPUR 7月号 これからはクック・ドックで
行く!
3. 家庭画報 7月号 「極上木下」の情画
4. BRUTUS 6/5 夏休みでいーこの月で
見た西洋絵画100
5. VOGUE JAPAN 7月号
FASHION CULT 強く、美しく、極める。
5. 文芸春秋 7月号
島崎雪村 安倍一族への反旗

・7/1(土) 休業
 棚卸しのための
 この日本雑誌記入済なし
 ・8/11(金) ~ 15(火)
 夏休業をいってマシす

7月も終り了"というのに
「今こそ？」と思われろ方
ちいらしやると思"てあ。
T"いへん違"てまりま"て
ニ"記"い"てT"てけま"て
幸いです。

-7/7(金)-7/26(水)

安西水丸個屋

「七」の「七」

夏恒刚、安西水坑国展「七夕之夜」

今年で7回めになります。

◇ 7/4 (金)

嵐山光三郎氏・磯田道史氏

『字西水丸と語子』3500円

トウイベントと雑談 19時分

◇ 7/24 (月)

師・安西・丸と語る

—先生の教えたことは—

語り手・イラストレーター-山崎不夫氏

信濃八太郎氏

トウケンと歓談 19時より

3000A

※ト-7'後、水入れLのふたが閉

T=, T= あい酒 「夕張鶯」

ともに 歡談の時を

775 775.

安西水れ個展「七夕の夜⑦」ギャラリーートから 7/26

- ・ 昨年に続き 今年も千倉から来るよってまいりました。
この日を待ち、来られた事に幸せです。
- ・ 村上看樹さんのエッセイのイラストレーションを
見て以来、安西さんか、と気になっ
ていました。今日はギャラリーを言われることが
できて、とても嬉しいです。ぜひ来年もよくお願ひします。
- ・ 何度みても見あきないイラストレーションですねー、ジャン、としよう。
- ・ いつか、水れさんの絵を 部屋に飾るの夢です。(と思ひました)

千倉の千倉は
水れさんか、幼少期と
過ごした所です。

「万年筆からほいまる物語」より



この本を読む時、私ほう向いて
いました。下を向いて大切なもの
を探して、見つかった時に顔を
上げてまた歩き出す。
そのままだ、いいんた。



あなたに、出会うのはじめて、自分を失ったような気がします。



そこから私は、これからあなたと共に人生を歩みます。



すこい、ステキな宣言のページに、こゝろをつかるとに
なりました...!!

よし。(気合を入れて...)

そこから私は、これから人生と共に歩む、あなたと
探りにいきます。(本当を言えば、探りにきてほしいと...)

ギャラリーを訪ねてくたした
方に、前の人から書いた文に
つなげて物語をつづって
もらっています。

「今月のこゝろ」 若松果輔著「悲しみの秘義」より

かつて日本人は、「かなし」と、「悲し」と分けてよく、

「愛し」あるいは「美し」とあら書いて「かなし」と読んた。

悲しみにはいつも、愛む、心がけをこめて、

そゝには美としか呼ぶことができない、何か痛んでいる。

人生には悲しみを通じてしか開かない扉がある。

悲しむ者は、新しい生の幕開けに立ち合っているのかもしれない。

ナカノ社「悲しみの秘義」
1600円＋税